

避難時の心得

日頃から、地震や洪水被害に備えた家屋の点検や補強を行い、家族での役割分担や非常用持ち出し品の準備をして、万一避難することになった場合には、冷静に状況判断をして安全な避難を心がけてください。

★正確な情報収集

市役所や消防署から避難の呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。



★安全な避難経路での避難を

あらかじめ、自分たちで避難場所までの避難経路を複数決めておき、その中から安全に通行できる経路で避難しましょう。



★お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子供、病気の人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人の避難に協力しましょう。



★お車での避難は控えて

洪水などで浸水している場所では車が水につかり動かなくなることがあります。また、道路をふさがり復旧活動の妨げになることがあります。車での避難はやめましょう。



★家を出る前に

避難する前に、電気のブレーカーを切り、火の元には充分注意しましょう。また、親せきや、知人などに避難する旨を連絡して、連絡先を確認しましょう。



★動きやすい服装、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での避難を心がけましょう。靴はひもで縛れる運動靴が最適です。長靴では洪水のときに中に水がたまり、動きづらくなるので禁物です。



★水面下にある危険

冠水した道路は足元が見えないため、側溝やマンホールのふたが開いている場合などは非常に危険になります。先頭に立つ人は傘や長い棒などで確認しながら進みましょう。



★早めの避難を心がけましょう

土砂災害は多くの場合被害の発生・拡大に時間的余裕がありません。台風が接近してから外に出るのは危険です。気象情報や市の避難情報などを確認して、少しでも危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。

